

校長室の生きものの係 ⑤

珍しい鳥 カササギ

特徴～白黒で尾が長くハシボソカラスよりほっそりした鳥で、よく見ると翼の黒の部分は黒ではなく紫色に光っています。腹部は白色です。ギャーギャーギャーと鳴きます。



元々は九州佐賀県あたりに限定され生息していた珍鳥です。しかし、15年前位から生息地域を広げていることが本州でも確認されています。北海道では室蘭で1992年、苫小牧では1993年に確認され、今に至っています。苫小牧西部地区ではカラスのように頻繁に見ることができる鳥です。豊臣秀吉の朝鮮出兵の際に持ち帰ったという説もありますが詳細は謎です。しかし、最近、北海道の個体のDNAを調べたら九州のものと異なり、ロシア系統らしいということが判明しています（道新記事より）。

なぜ何百年も九州有明海を囲む地域にしか生息しなかったのか。それが最近生息地域を広げているのはなぜか。苫小牧方面だけに生息する理由はなにかなど疑問がたくさん湧いてくる鳥です。

4年前から通勤の際に稲穂から星置間で一羽だけ高圧線の鉄塔へ向かって飛んでいるのを確認しています。

札幌、小樽方面での情報がありましたらお知らせ下さい。